

2 野 菜

項 目	作 業 内 容
(1) 果菜類の 管理	(今月の作業のポイント) ○果菜類の管理 ○いちごの育苗管理 ○さといもの管理 ○台風・豪雨対策 ア 高温対策 夏場の雨よけハウスでは、ハウス内の温度が 40℃を超えることがあり、株の消耗や花質劣化による着果不良が発生する場合がある。そこで、ハウスの側面や妻面などをできるだけ大きく開放し、換気を良くするとともに、古葉や混み合った葉は適宜除去し、通風の確保に努める。 きゅうり、なす、ピーマンなどの露地果菜類では、株元に稲ワラや刈草を厚く敷くことにより、地温の上昇や土壌の乾燥を抑制し、根を保護する。 イ かん水・追肥・摘果 この時期のかん水は日中を避け、気温の低い朝夕に行う。 追肥は、草勢を見ながら、窒素成分で 2～3 kg/10a を 7～10 日おきに施用する。粒状肥料の場合、土壌が乾燥していると肥効が現れにくいため、施用後に適宜かん水を行う。 また、着果負担、高温、乾燥等により草勢の低下がみられる場合は、果実の若どりや奇形果（きゅうりでは極端な曲がり果や先細り果、尻太り果など）を中心に摘果を行い、草勢の回復に努める。 ウ 摘葉（葉かぎ） トマトやきゅうりでは、不要になった下位葉や、発病葉、過繁茂の部分などを適宜除去する。なお、傷口からの病原菌の侵入を防ぐため、葉かぎは晴天日の午前中に行い、夕方までに傷口の乾燥を図る。 エ 病虫害 晴天が続くとハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類等の発生が多くなるため、早期防除に努める。また、8～9月にかけては、果実を加害するオオタバコガやハスモンヨトウのほか、ハモグリバエ類などの発生が多くなるため、ほ場をよく観察して防除を徹底する。

項 目	作 業 内 容
(2) いちごの育苗管理	オ 生理障害 土壌の乾燥が続いたり、窒素施用量が多すぎると、カルシウムの吸収が妨げられ、トマトやピーマン等では尻腐れ果が発生しやすくなる（写真1）。 このため、かん水管 理に注意するとともに、定期的にカルシウム剤の葉面散布を行う。
	育苗中期～後期は、施肥やかん水・葉かぎなど、基本管理の徹底により苗の充実を図るとともに、後半は窒素肥料を切って植物体内の窒素濃度を低下させ、花芽分化を誘導する。 また、炭疽病を中心とした病虫害防除に努め、健苗を養成する。 ア かん水 天候と培養土の乾き具合をみて、苗が萎れない程度に1日に数回かん水する。自動かん水管理でも注意する。 イ 窒素肥料の中断 いちごは低温・短日条件で花芽分化するが、苗の体内窒素濃度を低下させることで、花芽分化が促進される。 窒素肥料を切る時期は作型によって異なり、無冷促成のポット育苗では8月中～下旬頃が目安となるが、ポットの大きさや育苗方法、品種等によっても異なるため、これらの条件に合わせて時期をずらす。 なお、「紅ほっぺ」は、育苗終盤に極端に肥料切れさせると、本ぽで芯止まり株の発生が懸念されるため、適切な肥培管理を行う。 ウ 小型ポットの根詰まり対策 小型ポット育苗では、育苗後半、ポット内に根が充満すると排水不良となり、根腐れや褐変が見られることがある（写真2）。この場合は、一度ポットから苗を



写真1 トマトの尻腐れ果



写真2 ポット底面に根が詰まった状態

項 目	作 業 内 容
(3) さといもの 管理	引き抜き、挿し直すと排水が良くなる。 エ 病虫害防除 炭疽病、ハダニ類などに対する防除は、定植までに徹底して行い、本ぼに持ち込まないように注意する。 ア かん水 先月に続き、畝間かん水を行う。かん水の目安は、夏季で晴天が続く場合は3日おきであるが、生育が旺盛となる8月頃からは大量の水を吸い上げるため、マルチ内の土壌水分を確認し、畝の中が乾燥しないよう畝の水分状態を確かめながら水管理を行う。 イ 病虫害防除 疫病の発生に好適な気象条件が予想される場合には、予防剤の散布を行う。発生が確認された場合には、発病茎葉をほ場外に持ち出し適切に処分し、ほ場内の菌密度を下げるとともに、直ちに治療剤を散布する。なお、耐性菌の発生を防ぐため同じ系統の農薬連用はできるだけ避ける。 ハスモンヨトウが多発することがあるので、適切に防除する。中齢以降は薬剤の効果が低下するので、若齢幼虫期の防除に努める。
(4) 台風・豪雨 対策	台風襲来やそれに伴う豪雨に備えて、この時期は特に草勢維持に努める。また、事前対策として施設の補強、防風網の設置、排水溝の整備を行い、しっかりと茎葉の誘引を施す。事後対策としては、ほ場内の排水を速やかに行う。豪雨被害を受けたほ場については、損傷した茎葉の除去や摘果、疫病・炭疽病・軟腐病等を対象に薬剤散布、液肥や尿素の葉面散布を行い、草勢の回復を図る。なお、強風、豪雨時のほ場の見回り事故を起こさないよう、危険回避に留意する。

(作成 農林水産研究所)